

市民アンケート調査の結果（まとめ）

1 アンケート調査回答者の特徴

- ➡ 共働き家庭もしくは共働きを希望する家庭の割合が高いことが伺えます。
- ・アンケート問4の回答で父、母ともに就労もしくは就労を検討している世帯の割合

山東地域未就園児	41世帯中33世帯（80.4%）
山東地域在園児	194世帯中174世帯（89.6%）
山東地域以外の未就園児	170世帯中141世帯（82.9%）

2 ニーズの高い施設

- ➡ 認定こども園、保育所のニーズが高いことが伺えます。
- ・アンケート問5の就園希望先（在園児は就園先）の回答割合

山東地域未就園児	1.認定こども園長時部（35.8%） 2.保育所（30.9%） 3.幼稚園（24.7%）
山東地域在園児	1.認定こども園長時部（40.9%） 2.保育所（35.2%） 3.幼稚園（15.1%）
山東地域以外の未就園児	1.認定こども園長時部（59.4%） 2.認定こども園短時部（30.0%） 3.保育所（6.5%）

- ➡ 施設を選ぶ理由としては、小学校区、子どもの長時間の預かり、きょうだいの施設の利用状況を意識していることが伺えます。

- ・アンケート問5の施設を選ぶ理由の回答割合

山東地域未就園児	1.小学校区だから（31.8%） 2.長時間預けられるから（16.5%） 3.通勤途上だから（10.6%） 3.周辺の自然環境による（10.6%）
山東地域在園児	1.小学校区だから（26.1%） 2.きょうだいがあるから（15.4%） 3.長時間預けられるから（14.1%）
山東地域以外の未就園児	1.小学校区だから（30.6%） 2.通勤途上だから（12.0%） 3.きょうだいがあるから（11.5%）

3 今後の在り方を検討するにあたり重視する視点について

- ➡ 長時間の預かり、クラス人数・集団規模を重視して検討する意見が多いことが伺えます。

山東地域未就園児	1.長時間の預かり（30.9%） 2.クラス人数・集団規模（16.0%） 3.教育・保育内容（13.8%）
山東地域在園児	1.長時間の預かり（34.9%） 2.クラス人数・集団規模（17.9%） 3.教育・保育内容（11.4%）
山東地域以外の未就園児	1.長時間の預かり（27.7%） 2.クラス人数・集団規模（16.8%） 3.子育て関連施設の充実（15.9%）

4 保護者からの意見（一部抜粋）

➡ 幼稚園の今後の在り方に関する意見

- ・幼稚園で特色ある教育・保育（オルタナティブ教育等）を実施し、市内外にPRする。
- ・私立園の習い事についていけない子もいるはずであり、地域の公立園として存続が必要である。幼稚園を認定こども園化させ、共働き世帯でも使える施設への変更を希望する。
- ・幼稚園としての役目を終え、子どもの遊び場など多目的施設として活用する。
- ・幼稚園に予算を充てず、他の地域に予算を回して受入れ枠を増やす。 等

➡ 育児・子育てに関する意見

- ・保育所、認定こども園長時部の預かり枠を拡大して欲しい。
- ・育児、子育ての相談の場、交流の場が欲しい。
- ・市内には子どもの遊び場が少ないので、子どもの遊び場を増やして欲しい。
- ・英語教室やひらがな教室のような子どもたちが学ぶ場が欲しい。
- ・病児保育、療育教室の充実 等

※市民アンケート調査結果

- ・アンケート回答者の8割以上が共働きもしくは、共働きを希望する世帯
- ・ニーズが高い施設は認定こども園、保育所であり、施設を選ぶうえで小学校区、きょうだいの利用状況、長時間の子どもの預かりができるかを意識する保護者が多い。
- ・幼稚園の今後の在り方を検討するうえで重視する視点として、長時間の預かり、クラス人数・集団規模を重視している傾向がある。